

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 負傷事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット事例
2. 体験した事例の名称	用手確保による隊員降下時のヒヤリハット
3. 体験した事例の中心的要素	<ul style="list-style-type: none"> ・確保中手が緩んだ ・訓練中に見取り隊員の声に耳がってしまった ・確保隊員と降下隊員がお互いに視認できない位置におり、連携が取れなかった
4. 体験した事例の原因・理由	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練降下中に自分の確保姿勢を変えてしまった。 ・訓練不足から、見取り隊員の声が気になり確保に集中できていなかった。 ・隊員同士が視認できない位置での意思伝達不足

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。行動の実行に問題があった。
------------------	---------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 17年 9月 20日 午後 4 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：消防本部敷地内にある高さ 5m程度のポンプ室を利用した。
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 負傷事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	墜落・転落、
7. 事例体験時の活動	演習訓練、 [救助（通常時の訓練）、]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	降下訓練、肩（腰）確保、その他：隊員同士が視認できない状態での意志伝達訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[31]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[7]年、階級[消防士長]、同様の活動[過去に1,2回程]、任務[隊員]
○当事者B	年齢[40]歳、勤続年数[22]年、現場経験年数[22]年、階級[消防司令補]、同様の活動[過去に1,2回程]、任務[車長]
○当事者C	年齢[36]歳、勤続年数[18]年、現場経験年数[18]年、階級[消防士長]、同様の活動[過去に1,2回程]、任務[機関員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	降下隊員を確保ロープのみで降下させるため降下ロープを設定	小隊長が間に入っていたので大丈夫だろうと思っていた。
経過2	当事者A	人力での確保で降下準備完了	
経過3	当事者B	降下訓練開始指示	
経過4	当事者C	降下開始	
経過5	当事者A	降下に入り降下開始	
経過6	当事者A	見取り隊員から「グリップビレーで十分だ」という声が耳に入る。	
経過7	当事者A	確保中に握りを変えた。	
経過8	当事者A	降下隊員が1m程度落下した。	
経過9	当事者A	ロープの滑りを感じ確保した。	
経過10	当事者A	降下隊員は地面2m手前で停止した。	

【その事例発生時の状況について】



○負傷事故の場合：負傷事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。その他：落下距離より建物高さがあったので、再確保が間に合った。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	はい

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・ 活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・ 体調が悪かった。	いいえ
・ 悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・ 装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・ 必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・ 狭隘な場所であった。	はい
・ 暑かった（寒かった）。	いいえ
・ 野次馬が多かった。	はい
・ 現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・ 足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・ 足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・ 指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・ 隊員の連携が不十分だった。	はい
・ 隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ
